

令和5年度 第1回 医療事業推進委員会

地区リーダー育成研修会報告

日時 令和5年8月26日（土）9時～16時

場所 大阪府栄養士会事務局 Web開催

報告事項

1)第1回、第2回医療事業推進委員会報告

- ・2023年度病院の給食部門における収支状況に係る調査の実施について

昨今の人件費増加、食材料費増加により、病院給食部門の収支の実態を調査することになった。全国で約300施設を対象に6月～8月にかけて実施した。回収率が目標の80%以上の高い回収率であった。今後調査の集計、解析作業に入っていく予定。

- ・全国栄養部門実態調査の実施

5月～6月にかけて全国栄養部門実態調査を実施した。回収率は前回よりも高く30%後半の数値であった。現在、解析中であるが病棟配置については特定機能病院では昨年よりも増加し約50%の特定機能病院で病棟配置がされていたとの速報値の説明があった。

- ・がん対策推進基本計画における管理栄養士の活動について

がん対策推進基本計画の中で、管理栄養士の存在を広めていく活動として、都道府県や病院で行われているがん患者に対するイベントやセミナーに積極的な参加をしていく。

- ・就職応援セミナー

昨年度同様に学生メール会員に対して、勤務年数の浅い病院管理栄養士との情報交流、会員増を目的としたセミナーがWebで7月4日に行われた。

- ・情報誌リエゾン発刊について

情報誌リエゾンのパイロット版が完成し各都道府県での会員への周知、そして会員増につながるよう活用をしていただくよう説明があった。

2)統一議題説明

- ・今回の会議での統一議題（6項目）について常任より説明があった。

3)会員増対策における好事例発表

- ・和歌山県・・・会員の悩み相談、情報交換などをワールドカフェ方式で実施した事例の発表があった。

- ・宮崎県・・・専門管理栄養士が研修会の講師をした場合の講師謝礼金の増額や新入会員に対する臨床分野でのミニ研修会の実施などの発表があった。

4)地区ごとの統一議題の討議

(1) 会員増対策

2023年度医療部会では22000人の会員の目標値を定めている。今後さらなる会員増に向けて、魅力ある職能団体を作り上げるにはどのような運営が望まれるか、また会員増対策でできなかったことは何かについて協議した。相談会の実施、充実した研修会の開催、世代年代別の取り組み、ホームページの充実などの意見があった。

(2) 専門管理栄養士の取得増への取り組みについて

がんの専門管理栄養士は全国で1000名以上であるがその他はそれぞれ100名足らずである。どのようにすれば取得者を増やすことができるかを協議した。専門管理栄養士に研修会の講師をしていただき専門管理栄養士の魅力を伝える、専門管理栄養士を取得してのメリットを伝えていくなどの意見があった。

(3) 機能強化型認定栄養ケア・ステーション設置奨励対策について

第8次医療計画において在宅を中心とした議論が進んでおり、機能強化型認定栄養ケ

ア・ステーション設置勸奨を進めていかなければならない。現在の都道府県おける設置数増加に対する取り組みについて協議した。

(4) 2022年度実態調査報告書における日本栄養士会HPへの掲載に対する反響や活用

実態調査報告書のHP掲載に対する意見としては、ベンチマークに使用できるのでありがたいといった意見や二次利用の制限については周知の必要があるといった意見があった。

(5) 栄養部門のマネジメントに関する課題

栄養部門のマネジメントにおいて、現状の課題とマネジメントのスキルアップに必要な日本栄養士会の事業展開について協議した。栄養部門の人員が少数のところと多数のところとでマネジメントの仕方が変わってくる。看護部門のようなマネジメント

の研修をしっかりと受けていないところが多い。日本栄養士会で認定や専門管理栄養士のような管理者育成の人材育成を事業展開していただきたいなどの意見があった。

(6) がん患者及び家族等関連のイベント参加について

がん対策基本計画の中でがん患者やその家族が参加する団体のイベントに管理栄養士も参加し社会貢献すべきという流れから各都道府県でのイベント参加状況の報告があった。

5) 栄養管理プロセス、PES報告の講演と演習

午後からは国が進めているデータヘルス改革において、今後データベースに管理栄養士の業務が組み込まれる可能性があることを踏まえ、栄養管理プロセス、PES報告の講演と演習が行われた。

(文責 医療 内菌雅史)